

令和2年度事業報告

I. 事業概要

令和2年度は、4月10日に愛知県が新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた県独自の「緊急事態宣言」を发出、4月16日には国が「緊急事態宣言」を全国に拡大し、愛知県を特定警戒都道府県に指定するという異例の状態が始まりました。

愛西市シルバー人材センターにあってもその影響は大きく、公共施設の休館、民間事業所の開業控え等による請負・派遣業務の受注・勤務が抑えられたものの、各個人宅からの申し込みは、ほぼ従来通りあり、請負事業の就業件数は3,543件(対前年比262件・6.9%減)、配分金は1億2,954万円(対前年比849万円・6.2%減)で、派遣事業の就業延人員は1,153人日(対前年比468人日・28.9%減)、契約金額は605万円(対前年比139万円・18.7%減)となりました。各種事業も密を避けるため、県シルバー人材センター連合会のオンライン研修・会議はあったものの、当センターでは6月18日に開催した総会を委任状・議決権行使書の書面議決を重視したコロナ対策を施した少数開催したことを始め、中止せざるを得なかった事業も多くあり、計画どおり執行できなかったことは残念でありました。

会員の家族に新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者となったこともありましたが、会員への感染には至らず就業への影響がなかったことは幸いでありました。

入会説明会を毎月開催し、41名の方の参加(対前年比18名減)があり新規入会された方もありましたが、退会者も増え、令和2年度末会員数は247名(対前年比21名減)となってしまいました。

令和2年度中に多くの発注をいただきました市当局ならびに事業所、一般家庭の皆様のご深いご理解とご支援に対して、心から感謝申し上げますと共に、今後も法令を遵守し引き続き地域の皆様から信頼されるシルバー人材センターとなるよう一層努力をまいります。